

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:基礎工学部・基礎工学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。 論文数が全体として前年度に比べ21%増加していること、特にスピントロニクス学術連携研究教育センターにおいて、ネットワーク型の研究を推進することで34%増加させていることが評価できる。 また、附属産学連携センターの設置をはじめとする産学連携に係る取組により、産学連携共同研究数を27%増加させていることが評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。 SEEDSプログラムにおいて講義2件、体感科学研究10テーマを担当し、プログラム応募数、受入数ともに昨年度を上回っている。特に応募数の増加が著しいことが評価できる。 また、SEEDS指導教員と高校生との共同の研究成果が米科学誌に掲載され、このことが朝日新聞に取り上げられたことも評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。 研究企画推進室と広報企画推進室が連携し「大阪大学豊中地区研究交流会」(H30/1/10、参加者241名)、および5つの共同研究講座による「豊中地区研究成果発表会」(H30/3/30)を企画・実施したことが評価できる。
【広報】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。 クロス・アポイントメント制度による女性教授受入れ数が、前年度0名から3名へと増加している。また、大学説明会における女子高校生への対応の強化、理系女子学生のキャリアパスを考える企画の開催や、「大阪大学豊中地区研究交流会」(H30/1/10、参加者241名)、および5つの共同研究講座による「豊中地区研究成果発表会」(H30/3/30)を企画・実施したことが評価できる。

## 【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 海外派遣中の活動の単位認定を拡大させ、学生の留学に対するモチベーションを高めるなど、留学経験者の割合増加に意欲的に取り組み、実績を向上させていることが高く評価できる。 また、附属産学連携センターを発足させ、従来の研究者個人ベースの共同研究のみならず、企業との連携によって共同研究講座を同センター内に誘致したことで、共同研究の受入金額実績を大きく向上させていることが高く評価できる。</p>
--